



のびのび若っ子

いっしょに読もう、いっぱい読もう～こどもの読書週間によせて～

校長 中島 早苗

新年度がスタートして、早くも一か月がたとうとしています。子どもたちは、それぞれ新しい学年に進級し、新しい人間関係を築き始めています。新しい環境は、気持ちを新たに頑張る機会を一人一人の子どもたちに授けているようにも思います。

4月20日には、5年生と6年生による委員会活動がスタートしました。事前の6年生の話し合いの姿からは最高学年にふさわしい真剣さが、5年生の姿からは初めての委員会活動にかける意気込みが伝わってきました。また、中休みには10人の委員長が校長室を訪れましたが、その表情や姿勢から頼もしさを感じることができました。

委員会活動の翌日には、何人もの高学年児童と話をしました。図書委員を務めるある子どもは、「みんなに教えてあげられるように図書室のどこに何の本があるかを自分で覚えてい。」と話してくれました。

さて、4月23日は「子ども読書の日」であり、子どもの日をはさみ、5月12日までの3週間は、「こどもの読書週間」です。今年度のテーマの「いっしょによもう、いっぱいよもう」には、「わくわくする本はまだまだあるよ、いっしょに読もう、たくさん出会おう」という思いがこめられているそうです。

本を読むことのすばらしさはいろいろとありますが、その本の世界に自分一人で飛び込み、自分のペースで読み進めることができることもよさの一つです。時には、登場人物そのものや登場人物の友達になったつもりで共感したり、ある時には客観的に見つめたりと本の世界に浸り本に向き合う、子ども時代にそんな本と出会い、心を豊かにしてほしいものです。

若葉台小学校の図書館（愛称「森の図書館」）では、子どもが本と出会い、身近に感じられる環境づくりを、合わせて学習センターとして自分で調べることができる環境づくりを学校司書の栗山先生や図書部の教員を中心として行っていきます。

青葉も子どもたちも、きらきら輝く5月になるよう、職員一同取り組んでまいります。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切に作る心を育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』